

令和4年度 西砂学習館運営協議会（令和4年10月）会議録

日 時：令和4年10月6日（木）午後6時00分～午後8時35分 （敬称略）
出 席：大橋 加藤 内金崎 小笠原 長谷川 岩元 能村 小林 森 増田 広瀬
事務局：石川 田中

1 開会のあいさつ

大橋：昨日から気温が急激に下がってきた。コロナ感染者数が減少してきている。対面で色々とできるように願っている。

2 令和4年度地域活性化講座について

（1）「地域の再発見・地元を学ぼう！玉川上水の謎」

・8/28（日）座学の報告 参加人数：31名 スタッフ：8名

・10/9（日）散策（まいまいず井戸・小説家 中里介山のお墓・羽村の堰・羽村市郷土博物館）

【委員の集合場所と時間】集合場所：西砂学習館1階ロビー、集合時間：午前9時10分

※ 豊泉先生を8:45にお迎えに行き、皆様と一緒に庁用車で羽村駅に行きます。

【一般参加者の集合場所と時間】集合場所：JR 青梅線 羽村駅 東口 階段を下りたところ、集合時間：午前10時

【持ち物】お昼ご飯・飲み物 ※ 玉川兄弟像近くで昼食を取ります。

【参加予定の委員】（敬称略） 参加予定者：31名 【合計：41名＋豊泉先生】

【前回確認】大橋 内金崎 岩元 加藤 広瀬（5名）（市民推進委員）長原、岡田（2名）

【当日の流れと注意点】庁用車のエスティマは8人乗り。乗車される方は、委員5名、豊泉先生、市民推進委員の長原様、とドライバーの田中。市民推進委員の岡田様、俣本、石川は直接、羽村駅へ。9:30には俣本・浅井（生涯学習係）・石川は到着して、受付を開始。

※ ガイドマイクは30個しかないため、ガイドマイクを付けない方は講師の直ぐ後ろを歩きます。※ 当日何かありましたら、総務課携帯に連絡を！ 090-3094-4948

【コース】羽村駅 ⇒ まいまいず井戸 ⇒ 小説家 中里介山のお墓 ⇒ 羽村の堰⇒ 玉川兄弟像（昼食）⇒ 羽村市郷土博物館 ⇒ 羽村駅（解散）

石川：10月9日実施の散策は、行きは下りで楽だが帰りは登り。高齢の方もいるのでゆっくり行きたいと思う。

内金崎：雨天時の参加者への連絡はどうするのか。

石川：雨天決行を予定。台風の予報は無いので大丈夫かと思う。連絡先の電話番号は頂いているので、中止等の連絡は学習館から参加者へは連絡する。

・10/30（日）の散策（清流復活の碑・川越緑地古民家園）

【集合場所と時間】集合場所：玉川上水駅 南口 階段・エスカレーターを下りたところ、集合時間：午後1時15分（参加者の集合時間は、1時30分）

【持ち物】飲み物

【参加予定の委員】大橋 内金崎 能村 加藤（4名）参加予定者：31名

【当日の流れと注意点】玉川上水駅から徒歩。※ ガイドマイクは30個しかないため、ガイ

ドマイクを付けない方は講師の直ぐ後ろを歩きます。

【コース】玉川上水駅 ⇒ 玉川上水進行方向左側を歩く ⇒ 清流復活の碑 ⇒ 玉川上水横断 ⇒ 川越緑地古民家園 ⇒ 砂川村馬頭観音世音 ⇒ 多摩モラル砂川七番駅（解散）

（２）「にしすな親子塾〈第６弾〉」

【会場と日時】西砂児童館、11月27日（日）午後１時～２時30分

【内容】「おやこのための読み聞かせ」 講師：たんぼぼ読書会の皆様

【定員と対象】15組 子育て中のパパ・ママとお子様

【進行状況】講師依頼済み。チラシを西砂小・松中小に配布依頼済。10/25号の広報たちかわに掲載申請済。⇒ もしも、希望者が少ない場合は地元保育園にチラシ配布

【参加予定の委員】大橋 長谷川 小笠原 岩元 加藤 森 広瀬

石川：各学校へチラシは配布した。たんぼぼ読書会の皆さまにも依頼済み。募集は10月25日からスタート。西一元氣通信にも掲載。申込状況によっては近隣保育園にもチラシを配布予定。

大橋：子育て中の方に触れて頂きたい内容の講座。1人でも多くの参加があれば良い。

（３）「西砂川での災害を考える〈第６弾〉」

【日時】11月19日（土）午後７時～午後９時

【内容】「自治会として何を考えようか」

講師：NPO法人 立川災害ボランティアネット、顧問：矢野 和孝 氏

【方針】西砂川自治会と砂川自治会（一部）の役員に出席を依頼し、一般の参加者は対象としない。よって、「広報たちかわ」や「ホームページ」には掲載しない。昨年度の内容とほぼ同様の内容とする。

【進行状況】講師依頼済み。西砂川地区自治会役員会で会長に説明をして頂き出席依頼通知を渡し済。砂川地区自治会（残堀川より西側の３自治会）には会長宛に郵送で出席依頼通知を送付済。

【参加予定の委員】大橋 岩元 能村 加藤 増田 広瀬

石川：時間を調整し、前回と同じ内容で最後まで行う。自治会の半分以上の会長が交代している。何年続けても効果がある講座と思う。立川災害ボランティアネットはNPO法人になった。西砂川地区15自治会と残堀川より西側の砂川地区3自治会の合計18自治会にお声がけをした。

（４）「認知症予防講座」

- ・日程の調整 → 1月21日か2月4日で上砂包括支援センターに確認して決める。
- ・内容は前回と同じで良いか？
- ・その他（変更点・注意点）

石川：内容は同じになるかと思う。講座の意義として、継続することで認知症防止の効果を期待する。場合により、希望を伝えれば新しい内容にもしてくれる。

大橋：年に1回の開催だが、その時に脳の刺激をし、継続してできるものを1年間それぞれ

が行う。昨年は栄養素の話で、具体的な食品のお話をして頂いた。

広瀬：高齢者の家族にも知って欲しい。「認知症とどう付き合うか」の視点も入れたい。

大槁：以前はサポートするための講座をしていたが、予防に変わった。

内金崎：今回の講座対象は介護や認知症の予防をしたい人。

森：対象は、サポートする人と予防をしたい人の両方にすると内容が広がり過ぎ限られた時間でできるか心配。予防講座は、自分のこととして興味をもち参加してくれるのが良かったので、予防という視点でやるのが良い。

大槁：家族の方の参加も意義がある。

内金崎：ならないようにする、させないようにする、家族のケアの3つの視点がある。どこを対象にするかで依頼する内容が変わる。どれも大事な内容。

広瀬：家族の問題、ケアする視点は来年度実施ができれば良い。

大槁：予防としての講座は楽しく色々なことができる。今年度は予防という視点で講座を開くが、次年度は家族という視点で認知症講座を検討しても良い。

小笠原：地運協として4つの柱を考えた時に、高齢者の周りを支えることが今後この地域は大事になるので何かの形で実現できればと考えていた。

(5)「西砂ウインターイベント～冬休みも火曜日は学習館に行こう！～」

【日時】12月27日（火）

【行事名称】西砂ウインターイベント ではなく、新たな名称

【イベントの内容】

- ・昼食提供：立川産のお米の「おにぎり」と「豚汁」（予算：7,117円）
- ・冬休みの宿題が想定される「書初め」のお手伝い
⇒ 講師は西砂書道愛好会の皆様（小林委員に、ご了承を頂いております）

・その他（自由研究）

・その他（イベント）

【申込方法・対象・定員】

- ・抽選方式（抽選参加方法：西砂学習館にメール、窓口で手書きの申込）
- ・立川市民に限る。市ホームページ・広報たちかわには掲載しない。
- ・チラシを西砂小と松中小に配布するのみとする。
- ・定員は30名？とする。学年ごとに人数を割り当てる。

【実施主体】重要

- ・西砂地区全体で実施する。

⇒ 子どもに係る組織で重要なのは、青少年健全育成西砂川地区委員会

【今後の段取り】

- ・長谷川委員を介して石井会長と調整を図る。

【考察と継続に向けての取組】

- ・うまく行ったら、スプリングイベントも開催？
- ・実施主体の拡大と参加者の抽選方式の採用？

石川：書初めの宿題が想定されている。小林委員にお願いし、西砂書道愛好会の協力を頂けることになった。もう1つの講座はどうするか。食事は、お米の確保はできる。申し込みは公平を考え抽選で行いたい。参加者数は25名が適切か。来年のサマーイベン

トに向けて西砂全体で子ども達を支えるテスト的なものを行いたい。キーとなる団体として青少健、地域学校コーディネーターにも協力を頂きたい。名称の変更については前回の会議で意見がでていた。

大橋：昼食を提供する場合は、予算的には可能とのこと。保護者にとって書初めの宿題が課題になっているのではないかと、ということで企画をしてはどうかとなった。1年生、2年生は硬筆、3年生以上が毛筆になる。各部屋に学年ごとに分けて行うか。地域で子どもを支える動きを考えることも大事。

長谷川：今は学習館主催だが、後々は他団体も共催として大きくするのか。

大橋：そのような動きが作れたら良いと思っている。

長谷川：一昨日の青少健の役員会で少し話した。学習館が主体で行っていることに対して、青少健が突然入り共催というのは分からない。行っていることに対して、青少健にお手伝いの内容を振って頂けるならお手伝いは可能。共催と書いてなくても、お手伝いは行ける人は行けるという話になった。もっと大きくして、西砂全体としてとなった場合、委員長含めた話し合いの場があるなら考えた方がまた変わるかもしれない。規模が分からない、お手伝いの形で誰かが行けるのではという話になった。平日の昼間は、青少健の委員は皆働いている。

大橋：趣旨に賛同して頂き、共催、協賛という名前を手掛かりに、このエリアの子どもを支える活動に青少健がベースとして名前を上げて頂くことは今後必要になるかと思う。少しずつ母体を広げていくようになったら良い。

長谷川：取り組みを大きくするというなら、これから話し合いをして、皆に納得してもらう必要がある。詳しく青少健に話を持っていかねばと思う。

大橋：小笠原委員のお話しがありがたかった。ここが拠点だとは限らない。西砂会館、西砂児童館が拠点になりエリアが広がれば子どもを支える活動が広がり、子ども達にとっても意味のあるもの。その為には支える母体も広くなければならない。青少健は自治会から子連まで全て網羅している組織。そこが協力してくれると活動が広がるのではというものもあり、手伝って頂けたらと思う。

長谷川：将来的なことを踏まえてもう一度役員会で聞いてみる。

石川：お願いすることは色々な形である。小林委員は書道でお願いしているので、調理担当がいなくなる。調理は人が多いと助かる。色々なブースでその方の特技を生かすお手伝いがあると良い。今回は書道を軸にし、プラスアルファで協力してくれる方によって決めたい。12月27日は年末なので忙しい方ばかり。保護者にとってはありがたい企画になっていると思う。可能な範囲のご協力を頂きたい。

広瀬：この地区は地域学校コーディネーターの活動が活発。岩元委員に、青少健の組織の説明を聞いた。組織のトップが青少健とのことだった。それならば、青少健も一緒にできたらという話になった。

大橋：今後の段取りについて。委員長に主旨の説明。一緒にできたら大掛かりなこともできるのではないかと思う。子ども達の居場所が拡大していけば素晴らしい。名前、中身はどうするか。スペースの問題もある。

田中：部屋は第2実習室を除いて予約済。何をやるかによると思う。

森：書道は指導者1人が子ども達を何人見られるか。

大橋：忙しい時期にそれだけのスタッフが集まるか。

石川：指導する側は、立ち歩いて教えるので、午前と午後で行うと疲れてしまうのでは。

田中：調理の問題もある。スタッフが増えた場合、それに伴い全体の参加者数も増える。50人以上になった場合は調理実習室だけでは対応が難しいと思う。1つの講座では25名が限度と思う。

内金崎：年末なのでスタッフも限られる。人数はあまり多くしない方が色々と考えた時に良いかと思う。

大橋：書道愛好会から何名来られるか。

小林：まだ話してはいない。教えることはそこまで難しくはない。メンバーは現在10人前後。5人来て頂くと、1人5人の子どもを見ることになる。

小笠原：児童館では2時間の講座で4名が定員。技術指導よりお道具の準備から教えることが大変。

石川：指導より場の提供が大事という事か。

小笠原：半々と思う。

森：25名が行うのは床か。練習はどのくらいの時間が必要なのか。イメージがわからない。

小林：書道愛好会では10名が第1教室で行っている。

田中：視聴覚室は昼食場所になっている。もう1つのイベントはどこの部屋で行うか。

石川：食事の場所の確保となると、2部制にするか。10:00-11:20が書道、お昼。後半は食事から始まり、書道をする。食事が終わった子どもは昔遊びなどをするか。

森：午前午後で50名の子ども、スタッフ20名、合計70名の食事の用意で、そのお手伝いの確保ができれば良いが、年末という事もある。初めてなので、広げないで確実に成功できる人数でやるのはどうか。

石川：20名、20名ではどうか。

大橋：始めから書道という形で3年生から6年生を対象にするのはどうか。

加藤：午前と午後で分けてやらなければならないのか。

大橋：児童館やWestWaveでも書初めをしているとのこと。他でも受け入れはある。時期的にお手伝いの人数が心配。

小笠原：最初の頃のサマーイベントでは1日子どもを預かりますというやり方であった。そこに戻して、書道だけでは、というのなら大根田さんの藁細工のような講座を行うなら意味があると思う。学習館の中で昔遊び、遊ぶもの、学ぶものの提供は意味があり、そこに引っかかる子どもが学習館に来る。他の遊びが良ければ児童館やWestWaveに来る。子どもの選択肢が広がる。森委員とは別の意味で固くした方が良いと思う。

大橋：小林委員は午前と午後で書道の指導に入れる方の確認をお願いしたい。書初めの宿題は学校でどのように考えているのか情報を集める。あとは事務局で詰めて定員を検討。調理は男の料理教室の方にもお声がけしたい。

石川：イベントの名前はどうか。

内金崎：今まで西砂運営協議会単体で実施してきたが、今回色々な団体を呼ぶということで、別の名前にしようという話がでた。

岩元：春休みに実施するならスプリングイベントになると思うし、特に変えなくても良いと思う。

大橋：イベントの名前の変更はしない。

4 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大槁：何かあれば事務局へ。

(2) 「地域学習館運営協議会交流会」について

- ・ 日程：11月25日（金）午後6時～午後8時
- ・ 会場：西砂学習館（視聴覚室・第1教室）
- ・ 内容：「学社一体 について」
 - 海野係長に学社一体の理念について20分程度話してもらう
 - 5グループ程度に分かれてコーディネータとどの様に連携を取っているかを議題にグループ討議
 - グループ代表者が討議内容を報告
 - まとめ（会長？）
 - 希望する学習館運営協議会は活動内容を掲示する

石川：西砂学習館運営協議会が担当館。密にならないように視聴覚室と第1教室を使う。

大槁：海野係長が最初に理念の話をする。私からは現状、考えや取組、今後について10分程話す。それを受けて、各グループに分かれ話し合い、発表をしてもらう。まとめは私ではなく海野係長がするのが良い。

広瀬：センター長でも良い。

大槁：グループが考えたことを発表するのでそれに対してのコメントをお願いしたい。

広瀬：1グループは6人までの人数にしたい。

大槁：活動内容の掲示は、西砂は学習館まつりに掲示したパネル、西砂小と松中小に掲示しているサマーイベントのパネルを掲示する。活動報告はそれを見て下さいとして、特別に時間はとらない。

広瀬：西砂の現状は、大槁会長がまとめて最始に話して頂く。グループ内での各自の説明が省ける。各自の説明より正確に伝えられる。

(3) 「西一元氣通信 第7号」について

- ・ 10月15日発行
- ・ 内容
 - 西砂サマーイベントの報告とボランティアの方からのコメント
 - 親子塾と防災の講座の宣伝
 - 豊泉喜一さんの伝えたい意思？

石川：資料参照。1面はサマーイベント。ボランティアからの感想は1名のみ連絡があった。

広瀬：ウインターイベントの開催日を入れても良い。

加藤：「豊泉喜一さんの伝えたい意思？」とは。

石川：知識を皆に伝授して絶えることなく続けたいというのが意志で、記事に盛り込んだ。

大槁：記録にすることが大事。出来るだけ随行し、お話をすることをキャッチしたい。受け止めることも豊泉さんの伝えたい意思なのかと思う。メモできる範疇は記録している。

(4) フリースペースについて (協議)

大橋：次回に持ち越し。コロナの関係でまだスタートしていないとのこと。

(5) 各委員から報告及び連絡事項 (報告)

加藤：来年度市民企画講座の検討が始まっている。豊泉先生の講演会を考えている。

広瀬：本日たましん RISURU ホールで高齢者のつどいがあった。75 歳以上対象。市内には 100 歳以上は 80 人いる。内訳は女性 75 人、男性 5 人。最高齢は 108 才 2 名でどちらも女性。

内金崎：10 月 24 日西砂町地域懇談会を西砂会館で行う。今回が今年度では 2 回目。1 回目で地域の課題を挙げていただき、その内容について、地域の中で解決に向けてできることを検討。参加者は固定ではない。その都度参加できる方に参加して頂いている。

11 月に第 2 子が生まれる予定。

石川：田中準也副市長は立川市役所で男性職員として最初に育休を取った。

小笠原：10 月はハロウィンイベントが控えている。今年度でワーカーズコープの契約が切れるが、次の 3 年間は特命更新として運営する。令和 8 年から南北 4 館のブロック化が始まる。4 館をまとめて指定管理として運営するという方法が決まっている。ブロック化までは今管理している管理者が継続して運営する特命更新。その為の書類の提出が 9 月に終わり、来週はプレゼンテーションが控えている。地域に支えて頂いた 10 年だった。11 月からは学童の入所申請がスタートする。

長谷川：青少健では 9 月 1 日～3 日中学生の主張作文の選定。11 月 3 日たましん RISURU ホールで発表。審査員として参加する。11 月 6 日は健康フェア。西砂小で行う。10 月 27 日は松中小で松明回し行う。役員会の時に地域でこれから見守るシステムを作る話をもっていきたいと思う。会長にもその報告をし、話し合いの機会を設けるようにしたい。

広瀬：他の学習館では青少健と一緒にやっている例もある。

岩元：西砂地区文化会では、来年はうどん作りを開催しようとなっている。11 月 4 日第 1 回地域学校協働本部連絡会を開催。地域学校コーディネーターが集まる。10 月 19 日たましん RISURU ホールで寿会芸能フェスティバルがあり、コーラスとフォークダンスで出場。良い刺激になり認知症予防に良いかなと思っている。

小林：サマーイベントについて。アンケートを見て、今までにないような反応だった。とても嬉しく思う。12 月 27 日の書初めは初めての事でドキドキしている。

森：西砂パソコン倶楽部では 9 月 13 日～15 日パソコン講座が無事に終了。講座から引き続きパソコンを勉強したい方が活動に参加。来月は初めてインターネット講座を開催。

増田：10 月は立川財政を考える会の学習会が 2 回ある。10 月 8 日は議員と市の決算カードを読む。10 月 22 日は財政課の出前講座。市役所会議室で開催。生活の中で変化がでてきている。欠席することが多くなっている。

能村：講座情報誌「きらり・たちかわ」秋号発行。平和都市宣言を特集。冬号はリサイクルセンターを特集記事に考えている。リサイクルセンターに取材に行き、手作業で行うゴミの分別を見学。大変な作業を見させて頂いた。昨日は柴崎学習館へ始めて行った。サークル数が多く、利用者の要望に応えられない悩みがあるとのことだった。

田中：砂川学習館の祭りで、入場者数をカウントする時に人が密にならないように、入口に

『すなたん』、『かわたん』というキャラクターを台座に置き、来た人が札のようなものを入れて全体のカウントを数えるものを作った。コロナ禍での工夫の1つ。大根田さんはこの時期はしめ縄講座をしている。予め分かっていると材料調達から全て協力してくれる。西砂でも出来たら良い。

石川：ガニガラ田んぼのお米は例年になく良い作付け。藁も良いものが取れるとのこと。遠隔地の会議や講座実施について。情報推進課委員会に了解がとれた。個人情報保護審議会が通ると、遠隔地の会議や講座ができる。市職員が基本的に使うが、センターが使用を許可し、市職員が立ち会えばサークルも利用可能となる。係長会議を毎月開催している。試しにネットを使った会議を行った。会議室は電波の入りが悪いので利用は第1教室が良い。

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、11月8日（火）

<配布資料>

- ・〈資料1〉令和4年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和4年度地域活性化講座（案）
- ・「西一元氣通信 第7号」（案）
- ・玉川上水の謎【集合場所】
- ・羽村駅からの散策コース（地図）
- ・玉川上水駅からの散策コース（地図）